



「トラサポ」で働く労働者がコロナに感染！ JR東海はなぜ明らかにしないのか？ 鉄道利用者と接触する業務なのに

10月13日、東京駅で遺失物扱いやお体の不自由なお客様の対応を行うセクション（主に東海道新幹線）で働く労働者が新型コロナウイルスに感染したことが判明しました。

感染した労働者は「新幹線メンテナンス東海」という、駅業務の一部をJR東海から請け負っている会社の「東京トラベルサポート事業所」所属従業員です。しかしなぜか、濃厚接触者の存在の有無を含めて、JR東海はこの事象を明らかにしていません。

10月6日には「スターバックスコーヒーJR東京駅日本橋口店」の従業員が、新型コロナウイルスに感染していることはホームページで明らかにしています。

JR東海社員やテナント従業員と同様に、鉄道利用者と接触する業務に携わる労働者のコロナウイルス感染については明かにして世間に注意喚起するべきです。

新幹線地本は10月15日、新幹線鉄道事業本部に申し入れを行いました。